

参加
無料

秋田県医師会勤務医部会
&
次世代医師サポート委員会
(旧:男女共同参画委員会)
合同企画!

2023, 1, 28 Sat.

16:00 - 18:00

秋田県総合保健センター2階
大会議室

:対象:
県内医療関係者

第2回
イクボス
セミナー

イクボスが増えれば、社会が変わる!

講演 ■ NPO法人ファザーリングジャパン代表理事

安藤 哲也氏



「イクボス」とは、
部下のワークライフバランスを考えながらプロフェッショナルを育て、
組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことが
できる上司・リーダー・先輩である。

イクボス宣言 ■ 秋田大学医学部長・病院長・看護部長、秋田県看護協会長、
秋田県医師会長による署名式

シンポジウム ■ テーマ：若手医師の生き立ちと今後の目標

能代山本医師会病院 外科 大塚 直彦
秋田大学医学部附属病院 心臓血管外科 五十嵐 至
市立大森病院 内科 奥山 博仁

参加申込

QRコードから、またはメール
(kinmui@akita.med.or.jp)にて、
1月20日(金)までお申込みください。



申込み用Googleフォーム

主催/秋田県医師会 共催/あきた医師総合支援センター・秋田県

あなたもイクボス宣言しませんか

秋田では、平成28年1月9日に初めて「イクボスセミナー」を開催しました。それから6年が経ち、今あらためて「イクボス」を考える第2回イクボスセミナーを開催いたします。



イクボスの元には優秀な人材が集まり、それによって「ワークライフバランス」の整備が進み、医療サービスや医療安全の向上につながると考えます。

多様な価値観と働き方を認め合いながら全ての医療職が幸せに働けるようみんなで考えませんか。

1. 理解

現代の子育て事情を理解し、部下がライフ（育児）に時間を割くことに、理解を示していること。

2. ダイバーシティ

ライフに時間を割いている部下を、差別（冷遇）せず、ダイバーシティな経営をしていること。

3. 知識

ライフのための社内制度（育休制度など）や法律（労基法など）を、知っていること。

4. 組織浸透

管轄している組織（例えば部長なら部）全体に、ライフを軽視せず積極的に時間を割くことを推奨し広めていること。

5. 配慮

家族を伴う転勤や単身赴任など、部下のライフに「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。

6. 業務

育休取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有作り、チームワークの醸成、モバイルやクラウド化など、可能な手段を講じていること。

7. 時間捻出

部下がライフの時間を取りやすいよう、会議の削減、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること。

8. 提言

ボスからみた上司や人事部などに対し、部下のライフを重視した経営をするよう、提言していること。

9. 有言実行

イクボスのいる組織や企業は、業績も向上するということを実証し、社会に広める努力をしていること。

10. 塊より始めよ

ボス自ら、ワークライフバランスを重視し、人生を楽しんでいること。